

山口県医師会 第196回定例代議員会



と き
令和6年6月13日(木)
15:00～16:15
ところ
ホテルかめ福「ロイヤルホール」

開会宣言

西村議長、定刻、代議員会の開会を告げ、会長の挨拶を求める。

会長挨拶

加藤会長 皆様、こんにちは。代議員の先生方、本日は第196回の定例代議員会に出席いただき、誠にありがとうございます。また、村岡県知事から祝辞をいただくことになっているが、代理で兼清健康福祉部理事に来ていただいておりますことに感謝申し上げます。

6月9日の医学会総会では多数の参加、ありがとうございました。また、担当された津永会長をはじめとする徳山医師会の皆様に感謝申し上げます。津永会長ご自身がコロナ対応で疲れた時に聴いていて癒されたという幸田浩子さんの歌で、コロナで傷ついた医療者と市民に癒しを提供したいという強い思いで市民公開講座としては異例のソプラノリサイタルという運びになったということであった。来年は山口市医師会の担当だが、医師会として市民に最も提供したいものを市民公開講

座としていただければ幸いである。

医学会総会の後、家に帰って散歩をした。その後、体がだるく、熱っぽい感じがするので、体温を測ると37.9度あった。その前の週に接した人の中でコロナに罹った人がいたので、私の勤務する病院の救急外来でコロナの検査をしてもらったところ、陽性でPCRのコピー数は37であった。30以上では感染力はないとのことで、皆さんに迷惑はかかっていないとは思っているが、パキロビッドを飲みながら自宅静養をした。昨日、再度PCR検査をしたところ、陰性になっていたが、発症して5日経っていないので、心苦しいが、会終了後の懇親会は遠慮させていただく。

本日は1件の報告事項と、7件の議決事項がある。どれも大事な事項で、議決事項の中には役員の選任・選定も含まれているので、慎重に審議いただきたい。

閉会の挨拶時に、1期目の総括と2期目の抱負を述べたいと思っている。

本日はよろしくお願い申し上げます。

来賓挨拶

山口県知事挨拶(山口県健康福祉部 兼清理事 代読)



山口県医師会定例代議員会の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。加藤会長をはじめ、山口県医師会の皆様方には平素から、県民に対する質の高い医療の提供に多大なるご尽力を

いただきますとともに、県政の各般にわたって格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、元日に発生した能登半島地震では、JMAT やまぐちを派遣され、被災地のニーズに合わせた医療支援を行われるなど、多大なご尽力をいただきましたことに重ねてお礼申し上げます。

さて、県では将来にわたり良質な保健医療サービスを提供できる体制の確保に向けて、山口県医師会の皆様方から貴重なご意見をいただき、向こ

う6年間の本県の保健医療施策推進の指針となる第8次山口県保健医療計画を策定したところです。本計画はすべての県民が必要な保健医療を持続的に受けられるよう、生涯を通じて健康で安心して暮らせる地域保健医療体制の確立を基本目標に掲げ、5疾病6事業、在宅医療など保健医療提供体制の構築や保健医療人材の確保など、2つの視点に沿って、総合的に施策を推進するものとなっています。今後はこの計画に基づき、医療機関の連携強化、役割分担に基づく効率的で質の高い医療提供体制の確保をはじめ、医師や看護職員など地域医療を支える人材の育成、確保に取り組んでいくこととしています。こうした取組みを進めていくためには、山口県医師会の皆様方のお力添えが不可欠と考えておりますので、それぞれの分野や地域のお立場から、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山口県医師会の今後ますますのご発展と、本日ご参会の皆様方のご健勝とご活躍を心か

出席者

代議員

山陽小野田	西村 公一	山 口 市	神徳 濟
宇 部 市	黒川 泰	山 口 市	鳥居 廣明
大 島 郡	野村 壽和	山 口 市	野瀬 善夫
熊 毛 郡	竹ノ下由昌	萩 市	山本 達人
吉 南	田邊 亮	萩 市	佐久間暢夫
吉 南	目 昭仁	徳 山	津永 長門
美 祢 郡	竹尾 善文	徳 山	高木 昭
下 関 市	飴山 晶	徳 山	武居 道彦
下 関 市	綾目 秀夫	徳 山	岩本 直樹
下 関 市	帆足 誠司	徳 山	中村 和行
下 関 市	青柳 俊平	徳 山	田村 光司
下 関 市	中司 謙二	防 府	山本 一成
宇 部 市	西村 滋生	防 府	松村 康博
宇 部 市	土屋 智	防 府	大西 徹
宇 部 市	高田弘一郎	防 府	御江慎一郎
宇 部 市	草野 倫好	防 府	岡澤 正
宇 部 市	藤野 隆	下 松	井上 保
山 口 市	豊田耕一郎	下 松	後 賢
山 口 市	塩見浩太郎	岩 国 市	小林 元壯
山 口 市	郭 泰植	岩 国 市	西岡 義幸

県医師会

会 長	加藤 智栄
副 会 長	沖中 芳彦
副 会 長	中村 洋
専務理事	伊藤 真一
常任理事	前川 恭子
常任理事	河村 一郎
常任理事	長谷川奈津江
常任理事	上野 雄史
常任理事	茶川 治樹
常任理事	縄田 修吾
理 事	白澤 文吾
理 事	藤原 崇
理 事	竹中 博昭
理 事	木村 正統
理 事	岡 紳爾
理 事	藤井 郁英
理 事	國近 尚美
監 事	藤野 俊夫
監 事	宮本 正樹
監 事	友近 康明

広報委員 岸本 千種

ら祈念いたしまして、挨拶いたします。

人員点呼

西村議長、出席代議員の確認を求める。

事務局、確認の上、代議員会定数60名、出席代議員46名であることを報告。

議長、定款第25条に基づく定足数を充たしていることから会議の成立を告げる。

議事録署名議員の指名

西村議長、議事録署名議員に次の2名を指名。

豊田耕一郎（山口市）

山本 一成（防 府）

議事（報告事項）

報告第1号 令和5年度山口県医師会事業報告の件

沖中副会長 令和5年度中に20名の会員がご逝去された。



一全員起立し、黙祷を捧げる。

実施事業の8項目に関する説明する。

生涯教育

生涯研修セミナーを例年通り年4回開催した。うち1回は勤務医部会の企画とした。第105回山口県医学会総会を吉南医師会の引受けにより、山口市小郡で開催した。県内の中高生を対象とした医師の職業体験実習を宇部市で開催し、多数の参加があった。新規事業として、令和5年度より、会員の医学・医療に関する研究を支援することにより、医学・医療の発展と医師の県内定着を促進することを目的として、山口県医師会医学研究助成金事業を開始し、2件の助成を行った。また、令和6年度の対象者について選考を行った。さらに、山口県医学会誌第58号を発行した。

医療・介護保険

医療保険関係では、中国四国医師会連合の医療保険分科会が5月に岡山市で開催され、同分科会のテーマである「令和6年度診療報酬改定に

対する要望項目」の意見交換を行った。郡市医師会保険担当理事協議会、社保・国保審査委員合同会議をそれぞれ1回、社保・国保審査委員連絡委員会を2回開催した。会員から持ち上がる診療報酬の問題点、改正点については積極的に日医へ進言し、医療保険対策を講じているところであり、その進言の基となるのは、郡市医師会保険担当理事協議会及び社保・国保審査委員との協議会等から提出される意見であることから、これら協議会等は非常に重要な意見交換の場となっている。個別指導・新規個別指導は予定どおり行われ、県医師会から立会対応をした。

介護保険については、郡市医師会地域包括ケア担当理事・介護保険担当理事合同会議及び郡市医師会介護保険担当理事協議会（介護報酬改定説明会）を開催し、第八次やまぐち高齢者プラン、療養病床転換意向等調査の結果報告を県行政から行い、関係団体からは活動状況の報告等、情報提供を行った。

令和5年9月25日に厚生労働省から製造・販売が承認された「レカネマブ」について、認知症専門医委員会で対象者や受診窓口の対応、対応医療機関の役割等、意見交換を行った。

労災・自賠責保険については、郡市医師会労災・自賠責保険担当理事協議会・労災・自賠責医療委員会合同会議を開催し、それぞれの保険が抱える特有の問題（「休業補償給付支給申請書」等）について協議、情報提供を行った。また、2年に1回開催する自賠責保険研修会を開催した。

地域医療

令和6年度の改正感染症法に基づく医療措置協定の締結に向けて、圏域毎の医療提供体制の構築や意向調査に協力し、圏域会議や説明会等を通じて、会員医療機関への丁寧な説明に努めた。働き方改革の影響が及ぶと思われる救急医療については、昨年度に引き続いて時間外二次救急に対応する医師へのインセンティブを県へ提言した結果、令和6年度に支援制度が創設されることとなった。

県の第8次保健医療計画の策定に伴い、地域医療計画委員会を中心に委員会委員、郡市医師会担当理事、役員からの課題や意見、要望等を取り

まとめて県へ提言した。

初期救急医療については、郡市医師会救急医療担当理事協議会を開催し、休日夜間急患センターに関する調査結果等についての情報共有等を行った。また、AEDの普及促進を図るため、講習会で使用する訓練用資機材の貸出を行った。

小児救急については、病院勤務医の負担を軽減し、地域で安心できる小児救急医療環境を確保するため、各郡市医師会の協力により、乳幼児の保護者を対象にした啓発講習会及び小児科を専門としない医師を対象とした地域医師研修会を開催した。

検死（検視・検案）体制については、例年通り、警察医会を中心として、役員会・総会を開催し、警察が行う死体検案に協力する医師の連携を図り、研修会を実施した。

災害医療体制について、各郡市医師会又は病院単位によるJMATチームの事前登録を進めた。令和6年1月に発生した能登半島地震では、日本医師会からのJMAT派遣の要請に基づき、4チームの派遣を行った。

地域包括ケアシステムについては、介護保険担当理事との合同の郡市医師会担当理事会議を開催した。

地域保健

広域予防接種は、各郡市医師会や各市町関係者との合同会議を開催し、円滑に遂行されている。令和6年度から5種混合ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン（15価）が定期接種化されることに伴い、標準料金案の設定及び接種医療機関の取りまとめを行った。さらに、予防接種に関する知識と理解を深めることを目的に、今年度も予防接種医研修会を開催した。

県及び市町に対しては、おたふくかぜワクチン、小児のインフルエンザワクチン、日本小児科学会で助成されている就学前あるいは11～12歳の3種混合（DPT）ワクチン、就学前のポリオワクチン、B型肝炎定期接種の対象外である年齢の小児に対する助成を要望した。

母子保健分野では、令和3年度に設立した母子保健委員会を今年度も2回開催し、多職種連携強化のための対策、産後うつ並びに虐待防止の

ための施策等を協議した。

新生児聴覚スクリーニング検査の公費助成の推進については県に要望し、令和6年度から実施できるよう山口県産婦人科医会等・県・市町と連携・調整するとともに、各市町との委託契約締結の準備及び実施医療機関の取りまとめを行うなどした。

虐待防止活動としては、山口県、山口県産婦人科医会及び山口県小児科医会との共催で児童虐待の発生予防等に関する研修会を開催した。

学校医部会では、学校医活動の活性化と資質向上に向けた取組みとして、学校医研修会で「山口県における不登校対策」に関する講演を企画した。また、近年、学校保健関係の課題が山積していることから、顔の見える関係を築き、連携を図っていくために「三師会と教育庁との懇談会」を今年度初めて開催した。学校心臓検診検討委員会では、学校心臓検診報告書の作成や精密検査医療機関への疑義内容の照会など県内統一の学校心臓検診システムの精度管理をするとともに、学校心臓検診精密検査医療機関研修会を開催した。

糖尿病対策として、コメディカル・歯科医等を対象に山口県糖尿病療養指導士講習会を年4回開催し、修了認定試験合格者を新たに「やまぐち糖尿病療養指導士」として認定した。そのほか、これまでの資格認定者を対象に知識・技術向上及び資格更新のためのレベルアップ講習会を開催した。

特定健診・特定保健指導では、実施状況や検討課題について、保険者や決済代行機関（支払基金・国保連合会）の出席のもとで郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会及び関係者合同会議を開催した。

がん対策では、がん検診受診率向上の施策の一つとして、休日及び平日夜間にがん検診を行う医療機関へ助成する事業を実施した。また、30代女性の子宮頸がん検診受診率70%を目指す「やまぐち3070運動」の実施を県及び市町に対して要望した。

禁煙推進委員会では、喫煙防止教育の必要性を記した資料を県教育委員会及び県学事文書課を通じて県内の小中学校へ配付し、本会ホームページに掲載している喫煙防止教育のパワーポイントの

スライド:子ども用、大人用の最新版を作成した。

新型コロナウイルス感染症への対応は、昨年5月に5類感染症へ移行され、法律に基づいて行政が要請・関与をしていくこれまでの仕組みから、個人の選択を尊重して県民の自主的な取組みを基本とする対応へ転換された。この間、県医師会として、県行政と連携しWeb等を活用しながら圏域会議や説明会を開催し、地域における医療体制の構築の検討や協力依頼、対応変更の周知を行った。さらに今年度は、令和6年4月に施行される改正感染症法に基づく医療措置協定の締結に向けて、意向調査や締結する医療機関の拡充に努めた。また、県感染症予防計画や第8次保健医療計画の改定に際しても、県医師会として意見や要望をまとめて提言し、県行政と情報共有・連携しながら、説明会等通じて丁寧な説明や協力依頼に努めた。また、日本医師会主催の「診療所における新興感染症対策研修」に参加した。

産業保健では、今年度は山口県産業医会と共催で、「職場復帰支援から考えるメンタルヘルス対策」をメインテーマとして、第74回山口県産業衛生学会・山口県医師会産業医研修会を開催した。また、郡市医師会協力の産業医研修会は、計18回実施された。

広報・情報

対外広報活動として、12月に山口県総合保健会館にて県民公開講座を開催した。まず、「いのち、きずな、やさしさ」がテーマのフォトコンテストの表彰式を行った。特別講演として、落語家の鈴々舎馬るこ氏に「笑い与健康」と題して講演と落語をしていただいた。

令和5年度も県内19測定機関にスギ・ヒノキ花粉等について1月から4月末日まで毎日測定していただき、それを基に翌日の飛散予測を行い、関係機関やマスコミ等に対して情報提供を行った。また、正確な花粉飛散情報を県民に提供するため、測定機関の測定者等を対象にした花粉測定講習会を開催した。令和3年度から山口大学大学院医学系研究科システムバイオインフォマティクス講座に「AIを用いた山口県におけるスギ花粉飛散予測に関する研究」をお願いしており、進捗状況を花粉情報委員会で報告いただくとともに

に、AIプログラムの完成及び精度向上に向けて協力を行った。

情報事業としては、日本医師会医療情報システム協議会に出席した。令和5年度のメインテーマは「医療DXで何が変わるか！？～国民と医療者が笑顔になるために～」であった。サイバーセキュリティに関する研修会については、今年度は勤務医部会企画の研修会の中で行った。

医事法制

令和5年度に当会で受け付けた医事関係の報告は25件であり、定期開催の専門委員会では内容と対応を審議した。なお、令和4年度の受付件数は19件、令和3年度は11件、令和2年度は18件、令和元年度/平成31年度は13件であった。医療事故防止対策として「医療紛争防止研修会」をオンラインで全医師会員及び医療従事者を対象に行った。また、例年どおり担当役員が「日医医療安全推進者養成講座」を受講し、医療安全の推進を図った。医療事故調査制度の運営については対象事案の対応を図るとともに、担当役職員においては「医療事故調査制度に係る管理者・実務者セミナー（e-learning）」（日本医師会）に参加し、調査の精度向上に向けて準備を図った。

勤務医・女性医師

医師の働き方改革の議論が本格化し、医師の労働時間短縮や健康確保は重要な課題であり、個人の強い使命感や、医療現場の献身的な努力のみではもはや解決できなくなっている。こうした中、勤務医部会では、勤務医をめぐる諸課題の解決に向け、郡市医師会勤務医理事との懇談会、病院勤務医懇談会、市民公開講座、医師事務作業補助者研修会、医学生への啓発事業、座談会、講演会を企画し、実施した。

郡市医師会勤務医理事との懇談会は、郡市医師会の勤務医理事と意見交換の場を設け、地域の実情に沿った勤務環境の改善等を検討するとともに勤務医の医師会活動への参加促進を行った。病院勤務医懇談会は、医師会役員が病院を訪問し、3年ぶりに2か所で開催した。

市民公開講座は、郡市医師会の協力のもと、救急医療を主なテーマとして、4年ぶりに県内3か

所で開催された。医師事務作業補助者の活用は勤務医の負担軽減に資することから研修会を開催した。座談会は、「定年退職後の勤務医の働き方」をテーマとして開催した。講演会は、近年、医療機関を標的としたランサムウェア攻撃やEmotetなどを始めとする標的型メール攻撃が多発し、攻撃の多様化、巧妙化が問題となっていることから、サイバーセキュリティをテーマとして開催した。

臨床研修への取り組みとしては、平成22年4月より、山口大学、県内の基幹型臨床研修病院、山口県及び山口県医師会で組織された山口県医師臨床研修推進センターにおいて、臨床研修の円滑な推進及び研修医の県内定着に関する事業を行っている。

自治医科大学の義務年限明け医師に対し、県内定着率の向上を図ることを目的として、県内医療機関・自治医科大学交流会をオンラインで開催した。

男女共同参画部会では7つのワーキンググループ（勤務医環境問題、育児支援、女子医学生キャリア・デザイン支援、地域連携、広報、総会、介護支援）による活動を継続した。部会総会では、特別企画として「医療現場でのLGBTQを考える」をテーマに開催した。

また、日本医師会が開催する男女共同参画フォーラム、ブロック会議等に参加し、他県の取り組み等の情報収集に努めるとともに、男女共同参画推進事業助成金制度を継続し、女性医師の医師会活動への参画推進及び医師の働きやすい環境づくりと資質向上に向けた活動を行う都市医師会への支援を実施した。

医業

医業承継事業においては、山口県の「医業承継支援事業」の運営委託を受け、相談窓口と各種業務を開始した。「山口県医業承継推進連絡会議」に参加するとともに、県行政や関係機関に対して、承継手続きに関する経済支援を要望し、へき地における診療所等において、譲受契約成立時に生じる負担の一部を県行政が支援することに結び付いた。

毎年の状況を取り纏めている「看護学校（院）に関する基本調査」では、運営が厳しい状況が変

わらないことがうかがえ、特に応募者、入学者の減少が顕著であることから、応募者等の増加を目的として「医師会立看護学校（院）入学募集広報活動等の支援」を行った。また、国や行政に対しては、看護職員等の確保、養成施設の現状の理解及び支援拡充について要望を継続して行った。

平成27年9月に開設された「山口県医療勤務環境改善支援センター」においては、必要に応じて情報提供等の連携をした。働き方改革については、労働局等の関係機関からの情報について会員に周知徹底を図るとともに、中央の動向を注視し、適宜対応できるようにしている。

医療廃棄物対策としては、例年通り、国や県からの医療廃棄物取り扱いに関する情報提供を行った。

※詳細については本号591～609頁を参照。

議事（議決事項）

議案第1号 令和5年度山口県医師会決算の件

藤井理事 当期収支差額は、1億12万5,419



円の黒字となった。これは、10年国債の満期償還があったため、収入の部、Vの特定預金取崩収入に9,891万5,672円を計上したことによるもので、それを除いた事業実施等

による収支差額は120万9,747円の黒字となっている。

収入の部

Iの会費及び入会金収入は2億5,356万5,550円で、予算額に対して252万4,550円の増となった。これは、入会金収入が見込みを上回ったことによるものである。

IIの補助金等収入は、1億751万5,945円で、予算額に対して7億6,449万55円の減となった。その内訳は、1の補助金収入は、ほぼ予算額と同じ3,505万1,000円となっているが、2の委託費収入が、予算額に対して7億6,379万1,055円減の6,706万4,945円となった。減額の理由は、県からの業務委託の実績が見込みを下回ったため

で、医業承継に関する協議会助成が156万3,574円の減、新型コロナ自宅療養者健康確認等業務委託が、7億6,041万5,860円の減となったためである。

Ⅲの雑収入は、4,026万9,718円で、予算額に対して618万7,718円の増となった。これは、山福（株）からの配当金800万円の収入があったことによるものである。

Ⅳの特定預金取崩収入は、1億901万6,365円で、予算額に対して3,491万4,365円の増となった。増額の理由は、当初予算で収支を均衡させるため計上していた財政調整積立預金の取崩6,400万円について、収支が改善したため、取崩を行わなかった一方で、財政調整積立金資産に計上していた10年国債が満期償還を迎え、9,891万5,672円を取り崩し、現金預金に振り替えたことによるものである。

支出の部

Ⅰの実施事業の総額は1億4,208万7,757円で、予算額に対する執行率は15.2%となっている。執行率がかなり低くなっているが、これは、収入の部でも説明した新型コロナ自宅療養者健康確認等業務などの委託事業の執行率が低かったためで、不執行となった委託費を除く実施事業の執行率は、81.8%となる。1の生涯教育は1,656万4,614円で執行率は97.8%。2の医療・介護保険は715万2,557円で、執行率は55.9%。医療保険において、診療報酬の改定施行日が6月となったことから、説明会の実施時期を新年度に変更したことにより、開催経費に不用額が発生したことなどによる。3の地域医療は1,243万9,242円で、執行率は64.6%。地域包括ケアシステムの構築において、在宅医療推進に係る都市医師会からの助成申請が見込みを下回ったことによるものである。4の地域保健は4,100万3,221円で、執行率は5.1%。成人・高齢者保健において、県からの委託事業である新型コロナ自宅療養者健康確認等業務の実績が7億6,041万5,860円見込みを下回ったことによるもので、これを除く実質の執行率は90.7%となる。5の広報・情報は1,622万5,702円で、執行率は88.0%。6の医事法制

は304万2,102円で、執行率は47.8%。診療情報提供において、医療事故調査に関する各種会議の開催案件がなかったことによるものである。7の勤務医・女性医師は3,254万7,538円で、執行率は83.0%。8の医業は1,311万2,781円で、執行率は69.2%。医業経営対策において、医業承継に関する県からの委託事業の実績が見込みを下回ったこと、また、医療従事者確保対策において、医師会立看護学校からの助成申請が見込みを下回ったことによるものである。

Ⅱのその他事業は43万1,076円で、執行率は103.1%。修繕費が見込みを上回ったことによるものである。

Ⅲの法人事業は2億3,354万3,326円で、執行率は90.1%。このうち、1の組織は3,430万6,046円で、執行率は90.9%。2の管理は1億9,923万7,280円で執行率は90.0%。(4)旅費交通費、(7)備品購入費が見込みを下回ったが、(10)公課・会費・負担金で、租税公課等が見込みを上回っている。

Ⅴの特定預金支出は2,458万円で、執行率は103.5%。職員退職給与引当支出が83万円増となったことによるものである。

以上により、当期支出合計は4億1,024万2,159円、執行率は33.3%となっているが、県等からの委託事業を除く本会のプロパー事業の執行率は、85.9%となる。

次に、正味財産の増減について、当年度合計は4億135万1,213円で、前年度に比べ8,350万8,322円の減となっている。これは、新型コロナの5類移行に伴う県からの委託事業の減による委託費収益の減によるものである。これに対して、当年度合計は4億1,324万5,406円で、前年度に比べ9,794万1,371円の減となっている。これは、県等からの委託事業が8,210万円の減、昨年度まで実施していたコロナ休業一時金4,500万円の減があった一方で、会議の対面開催の再開による旅費交通費の増1,778万円、会議費の増576万円があったことによるものである。この結果、当期経常増減額の当期合計は1,189万4,193円のマイナス、期首残高21億6,823万1,054円と合わせ、期末の正味財産の残高は21

令和5年度山口県医師会収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

収 入 の 部 (単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する収入割合(%)	備 考
I 会費及び入会金収入	251,041,000	253,565,550	2,524,550	101.0	
1 会 費 収 入	239,041,000	237,415,550	△ 1,625,450	99.3	
2 入 会 金 収 入	12,000,000	16,150,000	4,150,000	134.6	
II 補助金等収入	872,006,000	107,515,945	△ 764,490,055	12.3	
1 補 助 金 収 入	35,750,000	35,051,000	△ 699,000	98.0	
	20,240,000		0		公費助成制度協力費交付金収入 20,240,000
	6,592,000		△ 189,000		日医事務助成金収入 6,403,000
	1,498,000		0		日医生涯教育助成金収入 1,498,000
	1,100,000		△ 160,000		医師会立看護師・准看護師養成助成金収入 940,000
	740,000		0		(財)労災保険情報センター事業運営費補助金収入 740,000
	1,000,000		0		労災保険共済事業振興助成金収入 1,000,000
	100,000		0		日医かかりつけ医機能研修制度支援金収入 100,000
	250,000		0		子ども予防接種対策助成金収入 250,000
	980,000	60,000	0		日医勤務医活動助成金収入 1,040,000
	500,000		0		日医「日本の医療を守るための国民運動」補助金 500,000
	500,000		0		世界糖尿病デー実行委員会助成金収入 500,000
	200,000		0		日本糖尿病学会支部助成金収入 200,000
	450,000		0		日医糖尿病対策地域支援助成金収入 450,000
	100,000	△ 30,000	0		日医医師年金普及推進事務助成金収入 70,000
	0		100,000		日医若手医師の医師会事業への理解促進等の取組補助金 100,000
	1,500,000		△ 480,000		医療事故調査等支援団体協議会運営費助成金 1,020,000
2 委 託 費 収 入	830,856,000	67,064,945	△ 763,791,055	8.1	
	1,628,000		104,365		産業医研修委託費収入 1,732,365
	100,000		△ 12,800		産業医研修協議会委託費収入 87,200
	150,000		0		学校医等研究委託事業委託費収入 150,000
	200,000		0		特定疾患専門医師研修委託費収入 200,000
	950,000		0		かかりつけ医認知症対応力向上研修委託費収入 950,000
	948,000		0		花粉症対策情報提供事業委託費収入 948,000
	251,000		0		主治医研修事業委託費収入 251,000
	985,000	△ 489,581	0		小児救急医療啓発事業委託費収入 495,419
	320,000		0		AED普及促進事業委託費収入 320,000
	1,594,000	△ 261,439	0		小児救急医療地域医師研修事業委託費収入 1,332,561
	939,000		0		緩和ケア医師研修事業委託費収入 939,000
	3,000,000		0		女性医師保育等支援事業委託費収入 3,000,000
	13,830,000	△ 284,356	0		休日・平日夜間がん検診整備事業委託費収入 13,545,644
	12,503,000	△ 867,780	0		山口県医師臨床研修推進センター運営事業委託費収入 11,635,220
	305,000		0		認知症サポート医フォローアップ研修委託費収入 305,000
	500,000		0		胃内視鏡検診研修事業委託費収入 500,000
	180,000		0		山口県もの忘れ・認知症相談医委託費収入 180,000
	1,918,000	△ 1,563,574	0		医業承継に関する協議会助成 354,426
	771,292,000	△ 760,415,860	0		新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康確認等業務委託費収入 10,876,140
	250,000		0		0歳児等虐待防止対策事業委託費収入 250,000
	19,013,000		△ 30		出向職員委託費収入 19,012,970
3 負 担 金 収 入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	
	5,000,000		0		山口県臨床研修推進センター運営負担金収入 5,000,000
4 寄 付 金 収 入	400,000	400,000	0	100.0	
400,000					400,000
III 雑 収 入	34,082,000	40,269,718	6,187,718	118.2	
1 雑 収 入	34,082,000	40,269,718	6,187,718	118.2	
	1,435,000	1,540,950	105,950		会館使用料収入 1,540,950
	2,500,000	2,887,464	387,464		預金利子収入・有価証券運用収入 2,887,464
	30,147,000	35,841,304	5,694,304		雑入収入 35,841,304
					各種保険集金事務費 15,530,154
					生命保険・グループ保険事務費 6,089,894
					山福(株)・第一生命配当金 8,430,000
					人件費(事務受託4団体) 650,000
					労働保険事務組合報奨金 818,700
					講習会受講料 2,384,000
					認定産業医・スポーツ医申請手数料 935,000
					糖尿病資格更新手数料 222,000
					母体保護審査手数料 148,000
					会報購読料、会報広告料 616,600
					学校医の手引き売上 3,000
					その他 13,956
IV 特定預金取崩収入	74,102,000	109,016,365	34,914,365	147.1	
1 役員退職金引当預金取崩収入	0	0	0		
2 職員退職給与引当預金取崩収入	501,000	500,693	△ 307		
3 会館運営協力預金取崩収入	9,600,000	9,600,000	0		
4 財政調整積立預金取崩収入	64,000,000	98,915,672	34,915,672		
5 会館改修積立預金取崩収入	1,000	0	△ 1,000		
当期収入合計 (A)	1,231,231,000	510,367,578	△ 720,863,422	41.5	

支 出 の 部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する 支出割合(%)	備 考
I 実施事業	937,540,000	142,087,757	795,452,243	15.2	
1 生涯教育	16,933,000	16,564,614	368,386	97.8	
	8,234,000		655,034		学術講演研修7,578,966
	1,020,000		370,000		専門分科会助成650,000
	2,177,000		8,200		地域医学会2,168,800
	300,000		300,000		その他の助成0
	1,402,000		454,300		生涯教育関係連絡協議会947,700
	800,000		△ 349,428		山口県医学会誌の発行1,149,428
	3,000,000		△ 1,069,720		医学研究助成金4,069,720
2 医療・介護保険	12,805,000	7,152,557	5,652,443	55.9	
	7,252,000		3,613,115		医療保険3,638,885
	3,092,000		1,762,600		介護保険1,329,400
	1,885,000		316,678		労災保険1,568,322
	576,000		△ 39,950		自賠責医療615,950
3 地域医療	19,247,000	12,439,242	6,807,758	64.6	
	2,546,000		944,820		保健医療計画の推進1,601,180
	3,647,000		941,883		救急医療・災害医療2,705,117
	2,579,000		872,802		小児救急医療1,706,198
	1,568,000		169,500		警察医会1,398,500
	5,424,000		2,325,313		地域包括ケアシステムの構築3,098,687
	2,323,000		1,393,440		有床診療所対策929,560
	1,000,000		0		医師確保対策1,000,000
	160,000		160,000		地域福祉0
4 地域保健	805,606,000	41,003,221	764,602,779	5.1	
	2,183,000		681,830		妊産婦・乳幼児保健1,501,170
	4,078,000		990,604		学校保健3,087,396
	794,657,000		762,617,514		成人・高齢者保健32,039,486
	4,688,000		312,831		産業保健4,375,169
5 広報・情報	18,442,000	16,225,702	2,216,298	88.0	
	3,260,000		855,138		広報活動2,404,862
	9,462,000		△ 843,960		会報編集発行10,305,960
	3,069,000		1,258,980		花粉情報システム1,810,020
	2,651,000		946,140		医療情報関連1,704,860
6 医事法制	6,367,000	3,042,102	3,324,898	47.8	
	2,542,000		△ 57,652		医事紛争対策2,599,652
	3,537,000		3,101,550		診療情報提供435,450
	288,000		281,000		薬事対策7,000
7 勤務医・女性医師	39,203,000	32,547,538	6,655,462	83.0	
	9,285,000		3,139,891		勤務医対策6,145,109
	20,467,000		288,614		山口県医師臨床研修センター運営事業20,178,386
	520,000		423,160		自治医科大学卒業医師県内定着促進事業96,840
	8,931,000		2,803,797		女性会員対策6,127,203
8 医業	18,937,000	13,112,781	5,824,219	69.2	
	2,327,000		1,538,320		医業経営対策788,680
	16,081,000		3,756,899		医療従事者確保対策12,324,101
	481,000		481,000		労務対策0
	48,000		48,000		医療廃棄物対策0
II その他の事業	418,000	431,076	△ 13,076	103.1	
1 収 益	418,000	431,076	△ 13,076	103.1	
					図書費・会費41,200
					印刷費・通信費39,676
					修繕費349,800
					その他400

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	予算額に対する 支出割合(%)	備 考
Ⅲ 法人事業	259,157,000	233,543,326	25,613,674	90.1	
1 組 織	37,732,000	34,306,046	3,425,954	90.9	
	890,000		△ 21,240		表 彰 911,240
	512,000		497,200		調査研究 14,800
	4,127,000		747,068		都市医連絡 3,379,932
	360,000		3,000		会員の親睦 357,000
	3,750,000		2,256,500		弔 慰 1,493,500
	2,048,000		△ 647,604		中国四国医師会連合関係 2,695,604
	2,384,000		394,000		新公益法人制度移行検討事業 1,990,000
					(医事紛争関係) 1,990,000
	625,000		193,220		母体保護法指定医関係 431,780
	872,000		419,480		関係機関連携 452,520
	741,000		308,160		医師会共同利用施設対策 432,840
	900,000		△ 105,000		社会貢献事業 1,005,000
	283,000		△ 618,850		医政対策 901,850
	20,240,000		20		公費助成制度交付金 20,239,980
2 管 理	221,425,000	199,237,280	22,187,720	90.0	
(1) 報 酬	15,130,000	15,130,000	0	100.0	
	12,020,000		0		役員報酬 12,020,000
	3,110,000		0		報 償 金 3,110,000
	0		0		役員退職金 0
(2) 給 料 手 当	100,070,000	98,604,679	1,465,321	98.5	
	98,569,000		465,014		職員給料 98,103,986
	1,000,000		1,000,000		賃 金 0
	501,000		307		職員退職金 500,693
(3) 福 利 厚 生 費	20,734,000	18,818,464	1,915,536	90.8	
	2,848,000		△ 1,526		役員厚生費 2,849,526
	17,886,000		1,917,062		職員福利厚生費 15,968,938
(4) 旅 費 交 通 費	16,000,000	10,738,520	5,261,480	67.1	
(5) 会 議 費	3,000,000	1,737,499	1,262,501	57.9	
(6) 需 用 費	19,000,000	15,308,303	3,691,697	80.6	
	6,500,000		904,667		消耗品費 5,595,333
	1,400,000		444,826		図 書 費 955,174
	4,000,000		1,613,423		印刷製本費 2,386,577
	4,500,000		188,928		通信運搬費 4,311,072
	0		△ 52,355		賃借料 52,355
	2,600,000		592,208		使 用 料 2,007,792
(7) 備 品 購 入 費	12,200,000	1,815,000	10,385,000	14.9	
(8) 会 館 管 理 費	17,691,000	17,112,385	578,615	96.7	
	14,491,000		1,863,946		管理諸費 12,627,054
	5,000,000		1,726,905		光熱水費 3,273,095
	3,372,000		△ 204		清掃・空調メンテナンス委託費 3,372,204
	5,137,000		△ 272,514		区分所有・営繕費負担金 5,409,514
	600,000		501,100		消耗品代 98,900
	382,000		△ 91,341		火災保険保険料 473,341
	2,000,000		△ 1,610,787		修 繕 費 3,610,787
	1,200,000		325,456		賃 借 料(土地、駐車場) 874,544
(9) 渉 外 費	3,000,000	815,672	2,184,328	27.2	
(10) 公課並びに会費・負担金	14,000,000	18,508,934	△ 4,508,934	132.2	租税公課16,618,059、会費540,875
(11) 雑 費	600,000	647,824	△ 47,824	108.0	寄附金1,000,000 災害見舞金350,000
Ⅳ 借入金返済支出	9,600,000	9,600,000	0	100.0	
1 会館運営会員借入金返済支出	9,600,000	9,600,000	0	100.0	
Ⅴ 特定預金支出	23,750,000	24,580,000	△ 830,000	103.5	
1 役員退職金引当預金支出	16,600,000	16,600,000	0	100.0	
2 職員退職給与引当預金支出	7,150,000	7,980,000	△ 830,000	111.6	
3 財政調整積立預金支出	0	0	0	－	
4 会館改修積立預金支出	0	0	0	－	
当期支出合計 (B)	1,230,465,000	410,242,159	820,222,841	33.3	
当期収支差額 (A)－(B)	766,000	100,125,419	△ 99,359,419		

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業会計	その他事業会計	法人会計	当年度合計	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費及び受取入会金	0	0	253,565,550	253,565,550	255,189,800	△ 1,624,250
受取補助金	8,238,000	0	26,813,000	35,051,000	35,478,250	△ 427,250
委託費収益	48,051,975	0	19,012,970	67,064,945	147,950,595	△ 80,885,650
受取負担金	5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000	0
受取寄付金	0	0	400,000	400,000	400,000	0
雑収益	4,144,556	22,438,748	13,686,414	40,269,718	40,840,890	△ 571,172
経常収益計	65,434,531	22,438,748	313,477,934	401,351,213	484,859,535	△ 83,508,322
(2) 経常費用						
事業費	142,087,757	1,254,536	269,903,113	413,245,406	511,186,777	△ 97,941,371
役員報酬	0	0	12,020,000	12,020,000	12,030,664	△ 10,664
役員退職給付費用	0	0	16,600,000	16,600,000	16,600,000	0
給料手当	2,330,200	0	98,103,986	100,434,186	99,980,635	453,551
職員退職費用	0	0	7,980,000	7,980,000	8,020,000	△ 40,000
福利厚生費	403,092	0	18,818,464	19,221,556	19,194,246	27,310
消耗什器備品	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	38,586,399	0	16,031,140	54,617,539	36,828,218	17,789,321
諸謝金	12,474,623	0	631,040	13,105,663	12,540,395	565,268
印刷製本費	9,614,844	33,000	2,445,977	12,093,821	13,448,273	△ 1,354,452
広告広報費	1,071,600	0	0	1,071,600	3,462,296	△ 2,390,696
図書教育費	279,807	3,200	959,074	1,242,081	1,164,638	77,443
消耗品費	1,821,573	0	5,694,233	7,515,806	7,334,942	180,864
渉外費	136,400	0	2,168,091	2,304,491	3,314,401	△ 1,009,910
通信運搬費	4,818,966	6,676	4,311,072	9,136,714	9,299,923	△ 163,209
光熱水費	0	0	3,273,095	3,273,095	3,604,894	△ 331,799
支払手数料	81,000	0	3,147,180	3,228,180	3,131,480	96,700
支払助成金	44,591,420	0	22,699,980	67,291,400	109,921,507	△ 42,630,107
支払負担金	258,000	0	8,082,614	8,340,614	9,252,121	△ 911,507
支払寄付金	0	0	1,020,000	1,020,000	1,040,000	△ 20,000
賃借料	9,695,670	0	1,350,771	11,046,441	7,125,892	3,920,549
リース料	0	0	2,007,792	2,007,792	2,274,792	△ 267,000
修繕費	0	349,800	3,610,787	3,960,587	1,088,630	2,871,957
委託費	10,994,940	0	3,372,204	14,367,144	96,474,190	△ 82,107,046
会議費	4,671,594	0	3,187,214	7,858,808	2,095,084	5,763,724
諸会費	125,000	38,000	700,875	863,875	809,875	54,000
租税公課	36,000	400	16,618,059	16,654,459	16,238,850	415,609
保険料	88,149	0	473,341	561,490	594,352	△ 32,862
雑費	8,480	0	500,644	509,124	372,768	136,356
減価償却費	0	823,460	14,095,480	14,918,940	13,943,711	975,229
経常費用計	142,087,757	1,254,536	269,903,113	413,245,406	511,186,777	△ 97,941,371
当期経常増減額	△ 76,653,226	21,184,212	43,574,821	△ 11,894,193	△ 26,327,242	14,433,049
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 76,653,226	21,184,212	43,574,821	△ 11,894,193	△ 26,327,242	14,433,049
一般正味財産期首残高	△ 2,167,688,563	173,399,216	4,162,520,401	2,168,231,054	2,194,558,296	△ 26,327,242
一般正味財産期末残高	△ 2,244,341,789	194,583,428	4,206,095,222	2,156,336,861	2,168,231,054	△ 11,894,193
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 2,244,341,789	194,583,428	4,206,095,222	2,156,336,861	2,168,231,054	△ 11,894,193

億5,633万6,861円となった。

次に、貸借対照表をご覧いただきたい。資産合計、負債及び正味財産合計は、それぞれ、前年度に比べ1,390万100円減の24億2,530万1,846円である。これは、主に当期経常増減額が1,189万4,193円のマイナスとなったことによるものである。なお、財政調整積立資産がマイナスの9,891万5,672円となっているのは、10年国債が満期償還を迎えたため、現金化したもので、現金預金が1億3,000万円増加しているのは、これによるものである。

財産目録をご覧いただきたい。流動資産の保有の内訳、固定資産として、特定資産、建物等の固定資産の保有の内訳を示している。

以上、令和5年度決算についての説明を終わる。ご審議のほど、よろしくお願いしたい。

監査報告

宮本監事 令和5年度山口県医師会決算については、慎重に審査したところ、適正に処理され、その収支は妥当なものとする。

令和6年5月16日

監事 藤野 俊夫

監事 宮本 正樹

監事 友近 康明

採決

西村議長、採決に入る。議案第1号について賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

議案第2号 山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件

西村議長 次に、「議案第2号山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件」であります。

（事務局長、議案第2号を朗読）

この件については、5月16日開催の第195回臨時時代議員会において当選人が決定しております。本日は、定款第32条第1項の規定に基づき、山口県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員の選任決議を行います。

今回の当選人は、第195回臨時時代議員会にお

いて当選人と決議された方々であり、理事候補者17名、監事候補者3名、裁定委員候補者11名の選任について、役職毎に決議を行いと思いますが、ご異議はございませんか。

（「異議なし」との声あり）

ご承認ありがとうございます。それでは、全員賛成により、議案第2号について、理事当選人17名の選任決議に入ります。

会長候補理事として加藤智栄 君、副会長候補理事として、沖中芳彦 君、中村 洋 君、理事候補者として、竹中博昭 君、中村 丘 君、木村正統 君、岡 紳爾 君、藤井郁英 君、長谷川奈津江 君、縄田修吾 君、茶川治樹 君、國近尚美 君、森 健治 君、伊藤真一 君、白澤文吾 君、河村一郎 君、吉水一郎 君、以上17名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

挙手全員ですので、17名を理事に選任決議いたしました。

続きまして、監事候補者3名の選任決議に入ります。

監事候補者として、友近康明 君、宮本正樹 君、淵上泰敬 君、以上3名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

挙手全員ですので、3名を監事に選任決議いたしました。

続きまして、裁定委員11名の選任決議に入ります。

裁定委員として、平岡 博 君、杉山知行 君、秀浦信太郎 君、守田知明 君、三好正規 君、砂川 功 君、保田浩平 君、浅山琢也 君、萬 忠雄 君、伊藤正治 君、小金丸恒夫 君、以上11名の選任について、承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

挙手全員ですので、11名を裁定委員に選任決議いたしました。

よって、議案第2号は、原案のとおり決議いたしました。

議案第3号 山口県医師会役員（会長、副会長）選定の件

西村議長 次に、「議案第3号山口県医師会役員（会長、副会長）選定の件」であります。

（事務局長、議案第3号を朗読）

この件につきましては、議案第2号同様に会長候補者、副会長候補者ともに、第195回臨時代議員会において当選人と決議された方々であり、役職毎に決議したいと思いますが、ご異議はございませんか。

（「異議なし」との声あり）

ご承認ありがとうございます。それでは、全員賛成により、議案第3号について、会長1名、副会長2名の選定決議に入ります。

会長の選定について、原案のとおり、加藤智栄君を会長に選定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

挙手全員ですので、加藤智栄君を会長に選定決議いたしました。

次に、副会長の選定について、原案のとおり、沖中芳彦君、中村 洋君を副会長に選定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手全員）

挙手全員ですので、沖中芳彦君、中村 洋君の2名を副会長に選定決議いたしました。

よって、議案第3号は、原案のとおり決議いたしました。

議案第4号 令和7年度山口県医師会会費賦課徴収の件

藤井理事 令和7年度の会費の賦課につきましては、第1号会員から第3号会員まで、すべて令和6年度と同様の内容となっている。また、日本医師会会費賦課額については、令和6年6月23日開催の第157回日本医師会臨時代議員会において決定した額とすることになっている。

議案第5号 令和7年度山口県医師会入会金の件について

藤井理事 令和7年度山口県医師会入会金については、令和6年度と同様の内容となっている。

議案第6号 令和7年度役員等の報酬の件について

藤井理事 一般社団法人山口県医師会定款第36条の規定により、理事及び監事に対して、代議員会において定める総額の範囲内で、代議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができるとされている。その額は、令和6年度と同額の1,202万円である。

採決

西村議長、採決に入る。議案第4号、第5号、第6号について一括採決に入る。賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

議案第7号 顧問の委嘱に関する件

加藤会長 顧問の委嘱につきましては、定款第38条に規定されており、代議員会の決議を経て会長が委嘱することになっている。

つきましては、議案にお示しの19名に顧問の委嘱をしたいと思うので、ご承認をいただくよう、よろしくお願い申し上げます。

採決

西村議長、採決に入る。議案第7号について賛成の議員の挙手を求め、挙手全員により決議した。

質疑応答

津永長門代議員（徳山） 質問ではないが、冒頭



に加藤会長もお話されたように、6月9日に第106回山口県医学会総会を無事、開催した。足元の悪い中にもかかわらず、多数の参加をいただき、感謝申し上げます。午後からの市民公

開講座は、癒やしをテーマにソプラノ歌手の幸田浩子さんのリサイタルを開催した。1,300名を超える来場者があり、非常に好評で、皆様、癒やされて帰られたようである。加藤会長もCDを買われて、サイン会に並ばれていた。この場をお借りして、感謝申し上げます。

会長挨拶

加藤会長 代議員の先生方、本日は役員の選任・選定、その他議決事項を決議いただき、誠にありがとうございました。

本日をもって、退任された前川常任理事、上野常任理事、藤原理事、藤野監事、お疲れ様でした。県医師会を支えていただき、ありがとうございました。

新たに役員に選任・選定された、中村理事、森理事、吉水理事、淵上監事、ようこそ、県医師会へ来て下さいました。優秀な役員も加わりましたので、2期目も、皆さんの意見を集約して山口県の医療が少しでもよくなるように努めていきたい。

1期目の就任の挨拶の中で、医療は社会的共通資本であり、さまざまな問題への対応が必要であると述べさせていただいた。山口県の医療の最大の課題は若手医師の不足で、この問題の解決に全力を注ぐことを宣言した。主に若手医師が担っている時間外救急を担当する医師を評価する制度を県に作ってほしいとお願いし、実現することができた。制度ができて、実際に活用されなければ意味がないので、確実な実施を推進していくつもりである。医業承継は譲渡医療機関も譲受を希望する方も増えているが、マッチングまでには至っていない。へき地で開業する場合は、施設に対する補助金を県が出してくれることになっているので、引き続きマッチングが成功するように努力していきたい。また、自治医科大学卒業生が義務年限を過ぎると約4割が県外に出ていくため、自治医科大学卒業生のキャリア支援事業を始めた。学会出張などに行く場合に代わりとなる医師を派遣する制度である。これも地道な活動だと思っているが、若手医師が増えるための対策になるのではないかと思っている。若手医師で医学研究をする場合の助成制度も昨年度から開始している。6月9日の医学会総会で、研究の途中経過を発表させていただいた。

医療DXに関して、地域医療情報連携ネットワークは、ベンダーに更新時に多額の費用を負担しなければならないために、廃止の方向に進んでいる。また、電子カルテを導入するための負担、更新するための負担などを考え、アンケート調査

を実施しているところである。1回目の調査で3割弱の医療機関に回答していただいたが、もっと多くの回答が必要なので、電子カルテを導入していない医療機関も含めて、追加のアンケートに協力いただきたい。全国共通の電子カルテが導入されると負担が軽くなり、クラウド型にすれば、災害やサイバーセキュリティに強く、コストがあまりかからないという情報もある。エストニアやデンマーク、台湾では全国共通の電子カルテになっているそうである。医療機関の負担がなるべくからない形での医療DXを進めていこうと考えている。

低迷するがん検診や特定健診の受診率を向上させるための糸口として、学校の教育現場で、がん教育や禁煙教育、性教育、ワクチン教育、社会保障の重要性などを訴えていくことが効果的であると考え、県教育庁との懇談会を昨年からはじめたところである。孫から、おじいちゃん、おばあちゃんにがん検診を勧めてもらおうと効果があるとの意見もあった。学校教育の中から、社会保障がいかに大事かを知ってもらうことが大切だと考えている。

私たち役員20名は、事務局と力を合わせ、山口県の医療が少しずつ良くなるように、また、山口県が全国で最も医師の働き甲斐のある県になるよう努めていく。代議員の先生方の叱咤激励、ご支援・ご指導のほど、よろしくお願いしたい。

また、あまり代議員会で質問がないので、是非とも質問を出していただきたい。建設的な議論をしていきたいと思っている。

本日は、ありがとうございました。

閉会宣言

西村議長 以上で第196回山口県医師会定例代議員会を閉会する。代議員各位のご協力に厚くお礼を申し上げます。

傍聴印象記

広報委員 岸本千種

第196回山口県医師会定例代議員会（令和6年6月13日）を傍聴した。

今回の役員選定では、会長に加藤智栄先生が再任され二期目に入った。副会長も引き続き、沖中芳彦先生と中村 洋先生が再任された。

令和5年度事業報告・決算報告と、議案審議は肅々と順調に進み承認された。膨大な内容を理解しやすく整理して、簡潔明瞭に報告してくださった。

実施された事業で「今回初めて」に注目して、印象的なものを下記にまとめた。

- ・令和5年度より山口県医師会医学研究助成金事業を開始し、2件の助成を行った。医学・医療の発展と医師の県内定着を促進することを目的としている。
- ・時間外二次救急に対応する医師へのインセンティブを、昨年度に引き続いて県に提言した結果、令和6年度に支援制度が創設されることとなった。
- ・能登半島地震では、日本医師会からの要請に基づき、4チームのJMAT派遣を行った。
- ・新生児聴覚スクリーニング検査の公費助成の推進について県に要望し、令和6年度から実施できるように連携調整し、各市町との委託契約締結の準備及び実施医療機関の取りまとめを行った。
- ・顔の見える関係を築き、連携を図っていくために「三師会と教育庁との懇談会」として県教育委員会、県歯科医師会、県薬剤師会との懇談会

を今年度初めて開催した。

- ・30代女性の子宮頸がん検診受診率70%を目指す「やまぐち3070運動」の実施を県及び市町に対して要望した。
- ・令和6年4月に施行される改正感染症法に基づく医療措置協定の締結に向けて、意向調査や締結する医療機関の拡充に努めた。
- ・サイバーセキュリティに関する研修会については、今年度は勤務医部会企画の研修会の中で行った。
- ・自治医科大学卒業医師の県内定着やキャリアアップを推進するため、県内医療機関・自治医科大学交流会をオンラインで開催した。
- ・市民公開講座は、救急医療を主なテーマとして、4年ぶりに県内3か所で開催された。

質疑応答はなく、定例代議員会は約1時間で無事閉会した。今回の会場は、かめ福オンプレイス2階ロイヤルホールだった。新しく美しく音響や空調も快適であった。

同日同じ会場で、山口県医師会表彰式も行われた。このたび退任された元役員や功労者の先生方に、加藤会長から感謝状が贈呈された。「医学医療に対する研究による功労者表彰」は、内田正志先生（徳山）と青木宜治先生（長門市）が、地域の小児医療でのご活躍とご貢献で表彰された。被表彰者の皆様を代表して、長寿会員の福本陽平先生が現役感あふれる、穏やかで活力に満ちた挨拶をされた。